

市民のひろば ~明るく元気な いわき市を目指して~

今月号は、いわき産農作物のおいしさとその理由を、楽しみながら学んで発信する「いわき野菜アンバサダー」の鈴木留美さんに、その活動内容などについて、インタビューした内容をお伝えします。

レポート②①



鈴木留美さん（いわき野菜アンバサダー）

Q 「いわき野菜アンバサダー」になろうと思ったきっかけは何ですか。
野菜が大好きで、子どものころから食卓には、常に野菜料理が何品も並び、野菜をたくさん食べていました。そのため、もともと農作物に関心がありました。それが「いわき産」を意識したことはありませんでした。

震災後、いわき産農作物が風評を受ける中で、実際に何が作られているのか興味を持つようになり、風評払拭のため、自分も何か役に立つことができるのではないかと、いわき野菜アンバサダーになるためのセミナーに申し込みをしました。
Q セミナーを受けてみて、いかがでしたか。
今まで、いわき産のものというイメージを「トマト」「ナシ」のイメージを

持っていました。それ以外にもたくさんの野菜や果物があることを知ることができました。特に、ナメコが市内で生産されているのには驚きました。
普段行くスーパーでも、市内で生産されているものが意外と多く、知らないで手に取っていたことが分かりました。さらに、いわき産に関心を持つことで、農作物の旬が分かるようになりました。
Q 活動内容を教えてください。
まずは自分で、いわき産農作物を使うこと、旬のおいしい時期に食べることを実践しています。
また「見せます！いわき情報局」のウェブサイトにも、活動レポートを投稿しています。地元のものを使った料理や、できるだけ皆さんが知ら



「見せます！いわき情報局」のウェブサイトにて活動レポートを公開

ないようなことを、楽しく情報発信しています。
また、農作物の放射性物質の検査体制や、市内生産者を知るバスツアーに、子どもと一緒に参加するなど、情報収集も行っています。
Q 今後の目標・抱負をお聞かせください。
いわき産農作物は新鮮で、シンプルな味付けでも十分おいしいので、市民の皆さんにもっと「いわき産」を知ってもらいたいと思います。また、市内の直売所を巡ったり、いわき野菜との新しい出会いを探したりしながら、自分自身も、より多くのことを学んでいきたいです。
そしてこれからも、地元の農作物を使い、いわきの農家の方たちを応援し続けていきたいです。



鈴木さんなど初のアンバサダーとなった55人。今では1,000人を超える規模に拡大

いわきの五十年を振り返る

好間町上好間

〈写真1〉は、合併直後の好間市街です。炭鉱で栄えた街は、石炭産業の衰退で苦境を迎えているところでした。



〈写真1〉国道49号線沿いの好間市街を、西方に向かって見る（昭和42（1967）年10月 いわき市撮影）



〈写真2〉現在は市道御台境町-北好間線沿いに昔の面影を残す好間市街（平成27（2015）年12月 いわき市撮影）

一方、街中に通じていた道路は、一般道から二級国道百十五号に格上げ、さらに昭和三十七（一九六二）年には一級国道四十九号に格上げされていきます。いわば街は、産業の衰退と交

通の発達という光と影の双方を見てきたといえます。合併後、好間市街には平市街が近いということもあって、市街南方は商業地、住宅地として変容していく一方で、昭和六十三（一九

いわき市は本年十月に、市制施行五十周年を迎えます。本市のこれまでの歩みを、市内各所の過去と現在の写真を比較し、エピソードを交えながら振り返ります。

八八）年には国道四十九号平バイパスが市街の南方に通じるという、目まぐるしい変化が訪れます。このような変化に対し、さまざまな対応をしていく街並み。少しずつ装いを変えていきますが、見上げると水石山（標高七三五メートル）の山並みは変わりません（写真2）。山頂から

平・好間などの平地や太平洋を一望できる特別な存在は、逆に麓のまちからは、日々仰ぎ見る日常的な存在です。
（いわき地域学会 小宅幸一）

※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただける方は、ふるさと発信課（☎22・7503）までご連絡ください。

12月14日(月)の市役所本庁舎、各支所・市民サービスセンターでの放射線量測定値

庁舎・支所	平(本庁)	小名浜	勿来	常磐	内郷	四倉	遠野	小川	好間	三和	田人	川前	久浜・炊
地上1m	0.094	0.035	0.041	0.055	0.044	0.051	0.051	0.057	0.052	0.074	0.066	0.066	0.111

市民サービスセンター	中央台	豊間	泉	
地上1m	0.067	0.098	0.051	

測定時刻：10時
単位：マイクロシーベルト/時
出典：原子力規制委員会ホームページより

モニタリングポストは、マイクログレイ/時で測定されていますが、本表では1マイクログレイ/時=1マイクロシーベルト/時と換算して表示しています。
※久浜・大久支所は、改築工事のため、当面、久之浜西公園での測定値を掲載します。

※過去における測定値、平成22年度の市内の状況については、0.04~0.07マイクロシーベルト/時で推移していました。（福島県ホームページより）

水道水の放射性物質の測定結果 水道局では、市内全12浄水場の水道水を週3回（法田第一ポンプ場・旅人浄水場・上遠野浄水場は週1回）検査しています。現在の検査結果は、放射性ヨウ素・放射性セシウムとも、全て不検出（1ベクレル/kg未満）であり、安心して飲んでいただけます。

放射線に関する問い合わせ窓口（県設置窓口） ☎0120-988-359 平日：8時30分~18時15分 土日祝：8時30分~正午